9/[日]27～9/[火]29 大町ソウケ市開催

350年以上の伝統

350年以上の伝統を誇る、「大町ソウケ市」が本町地区の旧長崎街道沿いで開催されました。

開催初日と２日目はあいにくの雨となりましたが、最終日の29日は晴天に恵まれ、県内外から多くの人が訪れました。

市には、昔ながらの竹ザルや竹細工をはじめ、焼物や刃物などのさまざまな品を扱う露店が軒を連ねました。

来場者は、普段なかなか目にすることのない珍しい工芸品の数々に足を止め、「どれにしよう」と目移りしながら、丁寧に編み込まれたザルやカゴなどを実際に手に取って、じっくりと品定め。気に入った品を買い求めるなど、昔ながらの市の雰囲気を楽しんでいました。



▲買い物を楽しむ来場者

9/[水]30 令和８年度 戦没者追悼式

戦没者の冥福と恒久平和を祈り献花

「令和８年度大町町戦没者追悼式」が、町総合福祉保健センター美郷で執り行われ、ご遺族や関係者など55人が出席しました。

式では、水川町長の式辞や各種団体の代表から追悼の辞が述べられ、その後、国や地域、家族のために命を落とされた戦没者の御霊に対して安らかな眠りと過去の悲惨な戦争を風化させず恒久平和を願い参列者全員による献花が行われました。



▲献花する水川町長

10/[日]4 大町町消防団秋季訓練

地域防災のために　一致団結！

大町町消防団の秋季訓練が町民グラウンドで行われ、団長以下105人の団員が参加しました。

訓練は、白石消防署大町分署の署員を講師に招き「ホース展張訓練」と「通常点検」、「初任科訓練」が行われました。前半のホース展張訓練では、火災現場を想定した実践形式で行われ、署員から安全で迅速に消火活動ができるよう動作への指導が行われました。後半には通常点検と入団３年未満を対象とした初任科訓練が行われ、消防団員は訓練を通し、厳正な規律の確保、団結力を再確認しました。

同日、町公民館では、女性消防団員を対象とした「普通救命講習」が行われました。

講習では、心肺蘇生法やAEDの使用方法など、緊急時に大切な命を救うための知識と技術を学びました。参加した団員は、実技を通して救命処置の手順を確認し、いざというときに迅速かつ適切に対応できるよう、真剣に取り組みました。





▲ホース展張訓練

広報用に撮影した写真を企画政策課で販売しています。